

「何がなんだか分からない」

—— 高齢者に冷たい制度・政治がうきぼりに

Aさんは寂しそうに語ります。「何がなんだか、わからない。私、頭悪いから。医療や介護や、結構お金がかかることが多い。スーパーで100円のカレーを買ってきて、おじいさんと2人で分けて食べているよ。年金が少ないからしょうがないね。長生きしすぎたと思っている。」

お年寄りにこうした思いをさせる制度のひどさ、政治の冷たさがうきぼりになっています。

お年寄りを大事にしない「後期高齢者医療制度」 は廃止を 日本共産党羽村市議団

私たちは高齢者の負担を増やし、うけられる医療を制限するこの制度の実施中止をもとめて運動を続けてきました。国民からは大きな批判が吹き出しました。

しかし国は、4月からの実施を見切り発車し、今回のケースのようなドタバタぶりを示しています。市役所の窓口にも過去例がないような多くの市民からの問い合わせが続いています。

また、国民の批判に押され、保険料の新たな減免制度がつくられましたが、そのことがますます制度を分かりにくいものとし、もともとの制度がいかに不十分なものであったかを浮き彫りにしています。

これらの矛盾を解決するためには制度をいったん凍結した上で、高齢者が安心して医療を受けられる制度に抜本的な見直しをはかっていくことが必要です。国会に提出されている廃止法案の成立など、後期高齢者医療制度を廃止するため、引き続き力をつくしていきます。



保険料の「年金天引き」を「口座振替」に変更 すると、税金が安くなる場合があります

後期高齢者医療制度の見直しで、次の条件のいずれかに該当する方は、「年金天引き」を「口座振替」に変更できるようになります。

変更すると、税金が安くなる場合があります。

<条件>

平成 18・19年度の保険料（税）を滞りなく納めた人

年金収入が年額 180万円未満の方で、世帯主または配偶者の口座から保険料の振替ができる人

詳しくは、羽村市保険年金課高齢医療・年金係（555 - 1111）または共産党議員団までお問い合わせください。

無料法律相談のお知らせ

9月9日（火）午後 1時 30分からです。
事前に予約が必要です。お気軽にご連絡ください。

- ・中原まさゆき 554 - 1163
- ・市川英子 554 - 1140
- ・鈴木たくや 080 - 1058 - 9450